

# 新まるさす主義

法學博士 神戸 正雄

緒言 (名稱、重要)

第一段 新まるさす主義ノ意義(要素、常素、偶素)

第二段 新まるさす主義ノ沿革(實際的、理論的)

第三段 新まるさす主義ノ批評(要素、常素、偶素)

結論 (概括)

## 緒言

新まるさす主義(註一) —ニまるさす主義(註二) トモイフ。故意ニ出產ヲ制限スルノ主義デ、現代ノ文明國間ニ行ハレテ其人口ノ増殖ヲ妨ゲツアル。廳ガテ文明、經濟、國防等ニ影響シ、國家ノ前途ニモ人類ノ運命ニモ關スル重大問題ユヘ、敢テ茲ニ之ヲ説述スル。

(註一) Neo-Malthusianismus (獨), Neo-Malthusianism (英), Neo-Malthusisme ou Neo-Malthusianisme (佛)

(註二) 註N Besant, 'The social aspects of Malthusianism'; Gotschalk, 'Valeur scientifique du Malthusianisme'; Forel, 'Malthusianismus oder Erogenik?' (以上書名) Malthusian Jergue (會名) Malthusian (雜誌名)

## 第一段 新まるさす主義ノ意義

新まるさす主義ニハ理論的ナルト實際的ナルトカアル。實際的ノモノノ方早ク開ケタガ、之ニ

促サレテ理論的ノモノノ發達スルニ於テ、實際的ノモノガ一層發展スルコトニナツタ。兩者手段ハ同一デアルガ、目的ハ異ウ。理論的ナルハ下層社會ノ爲メニ宣傳セントスルモノデ、實際的ナルハ上流社會ニ行ハルル所デアル。理論的ナル此主義ガ如何ニ宣傳セラレテモ、下層社會ヲシテ之ヲ實行セシムルコト困難デアルノニ、上流社會デハ着々之ヲ實行シテ顯著ナル成果ヲ擧ケツツアル。新まるさす主義トイフテモ斯ク二様ノモノガアルカラ、之ニ簡單明瞭ナル定義ヲ與フルコトハ困難デアル。強テ定義ヲ與フレハ唯ダ手段ニヨツテ其性質ヲ明ニスルニ止マルコトナル。

(註三) 例之あつしヤーハ定義シテ『人工的手段ニヨリテ小供ノ出産ヲ豫防スルコト、科學的ニイヘバ男及女ニ於ケル受胎ノ調整也』トイフ。之ニヨリテ手段ハ明デアルガ目的ハ不明ナルノ嘆ガアル。加之之ニヨリテハ全然小供ヲ産マザルモノヲ含ミ、未婚者間ノ出産制限ヲモ含ムガ如キノ缺點ガアル。

(一) 要素(A) 手段——新まるさす主義ハ相當ナル早婚ヲ爲シツツ受胎ノ豫防術ニコリ小供ノ多産ヲ防制スルコトヲ以テ手段トスル。(註四) 此手段ノ定義ハニヨリ成ル。(1) 相當ナル早婚(2) 受胎ノ豫防術(3) 多産防制是デアル。相當ナル早婚トハ晚婚ヲ排スルモ、生理上有害ニ、經濟上困却ヲ來タスホド早く結婚スルコトヲモ探ラザルノ意デアル。豫防術ニハ種々アツテ、化學的ナルガアリ、機械的ナルガアル。今一々説明ヲ憚ル。(註五) 多産ヲ制スルノハ必ズシモ無子トスルトイフノデハナク、唯ダ養ヒ得ルヨリハ多クヲ出産セズトノ意デアル。(註六) 之ヲ舊まるさす主義ト對照スルト、舊まるさす主義デハ晚婚獨身節制等ヲ勸ムルノニ、新まるさす主義デハ此等ノモノニ反對シテ相當ナル早婚ヲ勸メテ同時ニ受胎ノ豫防ニヨリ多兒トナラザランコトヲ奨ムル。其ノ(1) 獨身晚婚節制等

1) Ussher, Neo-malthusianism. p. 1.

ニ反對スルノハ淫竇悲哀犯罪疾病等ヲ虞ルルノデ<sup>(註七)</sup> (2) 其ノ相當ナル早婚ヲ勸ムルノハ之ニヨリテ同性間ノ潔白、家庭ノ愉快、隨テ個人ノ幸福、社會ノ健全ヲ保タウトイフニ在ル。

(註四) 固ヨリ唯ダ漫リニ人工的手段ニヨリ受胎ヲ豫防スルコトガ新まるさす主義トイフノデハナイ。次ニイフヘキ目的ヲ件ハナケレバナラヌ。

(註五) えつふえれニヨレバ古來今往行ハレタル受胎防止及隨胎處方ニハ少クトモ百二十八種アル。中ニハ有害ナルモアルガ今日ハ科學的ニ無害ナル幾多ノ方法ガ發明セラレ居ル。

(註六) 現ニ新まるさす主義者ノ一人タル者が一トモ此事ヲ説キ且ツ『人類ハ社會動物デ、此社會的存在ニハ小供ハ最大ノ寶デアアル』トイフテ居ル。尤モ實際の新まるさす主義者ノ中ニハ多産防制ニ甘シナイデ無子主義ヲトルモアラフ。

(註七) 其ノまるさすが性慾上ノ克己心ヲ勸メタノハ蓋シ彼ガ其當時ノ宗教的信念ニ基イタノデアアルガ、新まるさす主義者カライヘバ、其ハ一般人ニハ難キヲ望ムモノデアルトイフノデアアル。之ニツキる者が一トモ『人間ハ矢張り人間也』トイフガ如ク、性慾克己ハ普通ノ人間ニハ無理ノコトデアアル。之ヲ爲スコトニナレバ本文記述ノ如キ諸弊ヲ生スルコトトナル。佛國ノベるちよんニヨレバ佛白蘭ニアハ結婚者特ニ結婚セル男ハ獨身者ヨリモ長命デ、疾病犯罪不出行モ少イトイフ<sup>(註八)</sup>。結婚者ガ未婚者ヨリモ一層長命デ且ツ一層健康ナリトイフ。

(B) 目的——新まるさす主義ノ目的ハ理論的ナルト實際的ナルトニヨリ異ル。(1) 理論的新まるさす主義ノ目的ハ社會改良及弱者救済ニ在ル。人口過剩ノ危險即チ社會一部人民ノ貧困<sup>(註九)</sup> 隨テ生スル羸弱<sup>(註九)</sup> 犯罪及救養ヲ除クニ在ル。(2) 實際的新まるさす主義ノ方ハ寧ロ餘裕アル階級ニ行ハルル所ニヘ、理性ノ示ス所ニ從フモノト概括サルルコトアル所デアアルガ、<sup>(註一〇)</sup> 之ニヨリ包括スヘカラザル目的モアル。試ミニ其目的ヲ列擧スルト、(1) 各家族ノ生活上ノ安易<sup>(註一一)</sup> (2) 小供ノ生活ノ保障<sup>(註一二)</sup> (3) 家ノ財産上ノ格式保持<sup>(註一三)</sup> (4) 父ノ其子ニツキテノ名譽心<sup>(註一四)</sup> (5) 親ノ少數ノ子供ニ對スル愛ノ集中<sup>(註一五)</sup> (6) 婦人ノ美容保護<sup>(註一六)</sup> (7) 婦人ノ社交慾滿足<sup>(註一七)</sup> (8) 奢侈及追流行慾滿足<sup>(註一八)</sup> (9) 婦人ノ自尊心<sup>(註一九)</sup>

2) Drysdale, The small family system, p. 11. 3) Oefele, Anticonceptionnelle Arzneistoffe in alter und neuer Zeit. (cit. en Gottschalk, Valeur scientifique du malthusianisme, p. 16.) 4) Rutgers, Rassenverbesserung, Malthusianismus und Neo-Malthusianismus, S. 42. 5) Forel, Malthusianismus oder Eugenik? S. 3. 6) Rutgers, a. a. O. S. 15. 7) Stille, Der Neo-Malthusianismus, S. 15. 8) Besant,

等デアル。

(註八) びさんとは本世紀ノ最大ノ社會改良ヲ以テ民衆ヲ貧困ヨリ脱レシムルコトニ在リトスル<sup>9)</sup>。すちれハ特ニ農民及労働者ノ貧困ヲ救済スルニ此主義ノ必要ナルコトヲ説イテ居ル。即チ農業者ノ人口ガ増加シテ之ガ都會ニ移住スルコトニヨツテ其人口過剩ノ弊ヲ救ヒツツアルヤウデアアルガ、而モ實ハ之ニヨリ田舎ハ愈々貧困トナリツツアル。其ハ此等移住人口ノ養育費ノ負擔モアリ、移住ト同時ニ持去ル所ノ資本モアリ、更ニハ相續ニヨリ田舎ノ財産ガ都會人トナレル往住者ニ歸スルコトニヨツテ田舎ノ負債ヲ増スコトトナル。故ニ田舎ノ疲弊ノ『唯一ノ眞ノ根本的救済手段』ハ新まるさす主義デアルトイフノデアル<sup>10)</sup>。又労働者事情ノ改良ニツイテハ社會主義ガ要求スル所ノ各種ノ方策ノ始キモ、人口法則ナ注意シナケレバ失敗ニ終ルヘシトイヒ、増加スル所ノ資本増加ニ對シテ労働人口カ此ト同一度ニテ増加シナイヤウニスルコトカ出來レバ、労働ノ増加スル所ノ需要ノ爲メニ賃金カ愈々上ルコトヲ得ルノミナラズ又上ルコトトナラナケレバナラヌ。是レ實ニ社會問題解決ノ根本條件デアルト論シテ居ル。ツマリ新まるさす主義ヲ採ラナケレバ、労働者ノ地位ノ改良ハ出來ナイトイフノデアアル。

(註九) 之ニツキることがイサハ一國ノ出生數ガ多クレバ多キホド嬰兒ニ於ケル死亡率ハ一層大也トイフ。多兒ハ貧困隨テ羸弱ヲ生スルコトヲ意味スル。更ニ貧者が富者ヨリモ弱キコトニツイテハべるちよんノ作ツタ統計ニヨルト、佛國ニテ同一時ニ生レタル千人中生殘レルモノハ

	富者千人中	貧者千人中
(1) 五年後	九四	六五
(2) 十年後	五八	五七
(3) 二十年後	六六	二二
(4) 三十年後	六六	一五
(5) 四十年後	四六	九
(6) 五十年後	五七	
(7) 六十年後	五八	
(8) 七十年後	三五	
(9) 八十年後	三七	

之ニヨレバ貧民ノ過半ハ二十歳前ニ死亡スルノニ、富者ノ半分ハ五十―六十歳ノ間マテニテ死亡スル。而シテ七十歳ニ於テ生殘レル富者ノ數ハ貧者ノ其ヨリモ三倍以上大イコトヲ見出ス。更テニ雜誌のいえつあいとニヨルト伯林ニ於ケル人口千人ニツキ死亡率(一九一〇年)ハ左ノ如クテ、富者區ニ小、貧者區ニ大ナルコトヲ見ル。

9) Besant, The social aspects of Malthusianism. (in Malthusian tracts. No. 13) p. 7. 10) Stille, a. a. O. 38-51. 11) Stille, a. a. O. S. 51. 12) Stille, a. a. O. S. 56. 13) Rutgers, a. a. O. S. 37. 14) Deherme, Croître ou Disparaître. p. 91-92. 15) Neue Zeit. 24. Sep., 1915. S. 844.

富者區	全體	一年以下 ノ嬰兒	貧者區	全體	一年以下 ノ嬰兒
(1) ぶりーざりつひすたつこ	一〇七六	二二六	ぶりーざりつひ、ういるへるむす	一八五六	四二五
(2) べるりん、けるん、ぶりーざりつひ すうえるだー、ごるてんすたつこ	二二六六	一七七	(6) たつごうんさ、もあびつこ、えす ざりつひ	一七五八	六八五
(3) ぶりーざりつひすたつこ、うんさ、 てんべる、はりふあーふたるすたつ こ、うえすりつひ	二二六六	二六五	(7) げすんごぶるんねん	一七五八	六八五
貧者區	全體	一年以下 ノ嬰兒	(8) ろいぜんすたつこ、うえすざりつひ	一七五八	六八五
(4) すばんだうあー、ふいーあてる	三三六	四二二	(9) すざらうあー、ふいあてる、うえす ざりつひ	一七五八	六八五
(5) けるごりつひ	一九六六	四二二	(10) うえつちんぐ	一六二七	五八九
			全伯林市平均	一五〇〇	四二三

而シテ此貧民ニ死亡率多ク、其身體ノ羸弱ナルノハ營養不其ノ爲メノミナラズ、早クヨリ勞働ニ従事セシメラルルコトニモ  
困ル。びさんさハ之ニ關シテ『小供ヲ餘リ若キ時ヨリ勞働ニ出タスコトハ過大家族ノ結果ナリ』トイフ。多兒ハ此點ヨリシ  
テモ身體ヲ弱クス。

(註一〇) ふえるぢーハ佛國ニ於ケル新まるさす主義ノ普及ヲ指シテ、佛國ニテハ理性が益々發達ストイフテ批評シテ居ル。

(註一一) 此點ハ下層社會ニモ適用ガアル。(1) 其が特ニ住屋問題ニ關係ヲ有スル。獨逸デハ屋主ガ小供多キ家族ヲ好マナイ。

住屋設備ヲ早ク破毀スルカラデアル。同建物内ニ住居スル者モ小供多キ家族ト共棲スルコトヲ嫌リ。小供ノ喧騒ヲ恐ルルカ  
ラ。斯クテ小供多キ者ニハ住居困難ガ存スルトイフコトデアル。此ト同事ハ佛蘭西ニモアリ英國ニモアル。<sup>19)</sup> 日本ニモ目撃ス  
ル所デアル。るごがーすハ此外ニ小供ノ多クナルニ從ツテハ其扶養ニ關スル他ノ費用ノ嵩ム爲メ、之ヲ償ハウトイフ所ヨリ  
シテモ小供ノ少キ時ヨリモ一層小ナル住屋ニ移ルノ己ムナキコトノ稀デナイコトヲ指摘シテ居ル。<sup>21)</sup> 次ニハ屋主ガ使用人ヲ  
雇入ルル場合ニ家族ノ係累多キモノヲ嫌フトイフコトモアル。<sup>22)</sup>

(註一二) 自己及小供ノ生活ノ保障ヲ求ムルノハ他方ヨリイヘバ佛人ノ用心深ク、貯蓄的ナルコトニ基クノデアル。<sup>23)</sup>

(註一三) 佛蘭西ノ市民及農民ハ其ノ一度到達シタル社會上ノ地位ヲ保持シ、子孫ヲ生存競争ノ困難ト戦ハシメル代リニ、此  
地位ヲ子孫ニ確保セシメヤウトスルトイフコトデアル。<sup>24)</sup> ざらうあてりハイフ、教育アリ思慮アル両親ハ其小供ニ自己ノ持

16) Besant, Law of population. p. 21. 17) Ferdy, Sittliche Selbstbeschränkung. S. 175. 18) Ferdy, a. a. O. S. 140. 19) Ferdy, a. a. O. S. 166. 20) Ferdy, a. a. O. S. 183-184. 21) Rutgers, a. a. O. S. 41. 22) Rutgers, a. a. O. S. 41. 23) Ferdy, a. a. O. S. 20. 24) Ferdy, a. a. O. S. 170.

千タルト同額ノ財産ヲ有ダシメヤウトスルモノデアルト<sup>25)</sup>

(註一四) Alliance nationale pour l'accroissement de la population française ノ宣言ノ中ニハ佛蘭西人口制限ノ主タル原因

ヲ此ニアリトシテ居ル<sup>26)</sup>

(註一五) ふらんしす、んー、うゐーかーハ米國ノ人口制限ノ原因トシテ之ヲ數エテ居ル<sup>27)</sup>

(註一六) 高等教育ヲ受ケタル女ニハ出産ノ義務及責任ヲ取ルコトヲ拒ム傾向ガアリ、彼等ハ妻トナルコトヲ願フガ、母トナルコトヲ願ハナイ<sup>28)</sup>

ルコトヲ願ハナイ。

(二) 常素——新まるさす主義者ノ通例主張スル所デ而モ彼等ガ必ズシモ常ニ之ヲ主張スルトハイフヘカラサルモノハ二兒制デアアル。即チ人口増殖ノ限界ヲ示シテ、一夫婦二人以上ノ小兒ヲ擧ゲテハナラス。之ヲ超エテモ精々三兒ニ止メル。特ニ後者ヨリハ前者ヲ選ムヘントスル。(註一七) 實際的ノ此主義ニテモ自ラ二兒制ガ行ハルル所デアアル。

(註一七) ざらいでーるハ管テ四人以上ノ小供ヲモツ者ハ罪人デアアルトインスタトイフコトデアアル<sup>29)</sup>

(三) 偶素——新まるさす主義者ノ中ニハ特ニ婦人ノ過勞ヲ防グコトヲ以テ其目的トスルガアル。

此ハ此主義者ノ中ノ特ニ婦人連ガ其同性ニ對スル同情カラ主張スル所デアアル。(註一八)

(註一八) びさんミハ曰フテ居ル。各家庭ノ幸福ハ主トシテ妻ト母トノ上ニ係ル。母ノ健康ノ犧牲トセラルル處ニハ(小供ヲ

多ク産ミタル場合) 家庭ノ幸福ハ害セラレナクレバナラス。ト但シ<sup>30)</sup>すちるまんニ依ルト、數多ノ小供ヲモツ母ハ單一兒ノ母ヨリモ生命危險ハ少イ(出産ニツキ)併シ九人目ノ小供ヨリ後ハ出産カ母ノ死亡危險ヲ増ストイフコトデアアル、<sup>31)</sup>即チ九人目マデハ出産モ母體ニ危險ヲ加ヘナイヤウデアアルガ、るミがーすハ之ニ附言シテイフノニ、今日ノ多クノ家族ノ生活ニ於ケルガ如キ不満足ナル衛生狀態ニテハ、百人ノ女ノ中、九十九人マデハ妊娠ト妊娠トノ間ニ長キ休息期間ガナクレバ到底、其體力ヲ回復スルコトハ出來ナイト<sup>32)</sup>。即チ成ルヘク小供ノ少イ方が母體ノ爲メニ其イトイフノデアアル。

25) Drysdale, l. c. p. 118. 26) Ferdy, a. a. O. S. 154. 27) Ferdy, a. a. O. S. 190. 28) Ussher, l. c. p. 97-8. 29) Forel, a. a. O. S. 4. 30) Besant, Social aspects of malthusianism. p. 3. 31) Rutgers, a. a. O. S. 30. 32) Rutgers, a. a. O. S. 31.

## 第二段 新まるさす主義ノ沿革

(一) 實際的新まるさす主義——ハ佛國ニハ理論的新まるさす主義ノ起ル前、十九世紀ノ初頃ヨリ不言實行ノ裡ニ、都會ノミナラズ田舎ニモ行ハレテ、特ニ富裕者階級ニ多ク行ハレ來ツタ。<sup>(註一九)</sup>此佛蘭西的慣習ハ米國ニモ<sup>(註二〇)</sup>濠洲ニモ<sup>(註二一)</sup>行ハレツツアル所デアル。

(註一九) 尤モ佛國人口ノ減少ニハ受胎豫防ノミナラズ、飲酒、花柳病、<sup>1)</sup>結婚忌避等モ其原因ヲ成シテ居ル。カクテ佛蘭西國民ノ人口ノ徐々ナル増加ハ漸ク來住民ノ増加ニヨツテ生スル所デアルトイフコトデアル。<sup>2)</sup>

(註二〇) 米國ニツイテハ

(註二一) 濠洲ニツイテハ<sup>4)</sup>

(二) 理論的新まるさす主義(A)英國——此主義ヲ標榜スル運動ノ祖國ハ英國デアアル。英國ニまるさす人口論ノ出テタル後、英國人ニシテ佛國ニハ實際晩婚ノ代リニ受胎豫防ノ行ハレテ居ルコトヲ注意シタモノガアリ、ふらんしすぶれトスガ書ヲ著ハシテ佛國ニ於ケル此方法ヲ同國人ニモ勸メタ。ろばトおーろえんガぶれトスト會ツテ此事ヲ聽キ、大ニ興味ヲ惹キ、自ラ巴里ニ行ツテ之ヲ研究シ、歸國後にゆうらなるクヲ建テタガ、彼ハ即チ此主義ヲ同邦人ニ勸メタ。其子ノろばトとでーるおーろえんガ Moral physiology (初版一八三〇年)ヲ著ハシテ、此ニテ佛國ニテハ家族ノ生活材料ノ多寡ニ應ジテ小供ノ數ヲ制限スル慣習ノ行ハルコトヲ説イタ。<sup>(註二二)</sup>之ヨリ先キリちやトどかーらいるモ亦此事ヲ Every woman's book (一八二八年)ノ中ニ書イテ居ツタ。<sup>(註二三)</sup>其ヨリ幾程モナク一八三三年ニばすとんノ人のるとんガ右ノおーろえんノ書ニ刺戟セラレテ The fruits of

1) Forel, a. a. O. S. 20. 2) Ferdy, a. a. O. S. 153-4.  
3) Ferdy, a. a. O. S. 189 ff.  
4) Ferdy, a. a. O. S. 188-9. Ruttgers, a. a. O. S. 174.

philosophy ヲ書キ米國デ出版シタガ、其ガ英國ニ傳ハリ、四十年間餘リニ大ナル反響モナクシテ販賣セラレタ。(註四) 後一八五四年ニハ更ラニ英國ノ一匿名醫師ガ The elements of social science トイフ書物ヲ出シ、此ガ其後、佛、獨、蘭、伊、葡語等ニ翻譯セラレテ、外國ニ大影響ヲ及ホン此主義ノばいぶるトマデ見做サルルニ至ツタ。英國デハ特ニのるさんノ The fruits of philosophy ガ一八七〇年ト八〇年トノ間ニ此國デ出版サレ、一八七六年ニ偶々一教會ガ此書ヲ以テ公ノ道義ニ有害ナリトシテ其販賣者ヲ法庭ニ訴ヘタル爲メニ、却ツテ世ノ注意ヲ引クコトナリ、幸ニ當時陪審官ノ寛大ナル審理ニヨツテ犯罪トナルコトヲ免レタガ、之ニ刺戟セラレテ此主義者ノ大活動ガ初マリ、一八七七年ニびさんと夫人及ビどらいますでゐるカ Malthusian League トイフ會ヲ組織スルニ及ンデ、茲ニ此主義者ノ最初ノ組織體ガ出來ルコトトナツタ。此會ノ目的ハ(1)人口問題ノ公ノ論議ニ對スル處罰ノ廢止ヲ主張スルコト、(2)有ラユル手段ヲ盡シテ人口法則及其結果ニ關スル智識ヲ國民中ニ傳播スルコトニアル。而シテ其宣言ノ中ニなるさす教理ノ原則ヲ述ヘタル後なるさすノ勸メタル結婚ノ延引ハ疾病ト罪惡トヲ生シ、之ト同時ニ早婚ハ両性間ノ潔白、家庭ノ愉快、社會ノ幸福、僑人ノ健全ヲ確保スル傾向ヲモツ。併シ相當ニ養育スルヲ得ルヨリ以上ノ小兒ヲ産ムコトハ社會的犯罪也トイフテ、出産抑制ノ重要ニシテ正當ナルコトヲ陳辨シテ居ル。(註五) 此會員ニハ固ヨリ英國人が多數ヲ占メタガ、二人ノ巴里在住ノ佛人ハ一ふぎゅーよー、たらんぢえー、トはーぐ在住ノ和蘭代議士ふあんほうてんとガ加入シテ居タノハ注目ヲ値スル。(註六) 爾來會員ハ熱心ニ此主義ノ傳播ニ從事シ、一八七八年ニハ會長とらいますでゐるガ The population question



ヲ著ハシ、殆ンド同時ニびさんと夫人ガLaw of populationヲ著ハシテ共ニ頗ル廣ク行ハレタ。  
 一八七九年ノ二月ニハ機關雜誌 The Malthusian (月刊)出デ、其他此會ヨリ幾多ノ小冊子ヲ出シテ  
 世ニ販布シタ。此會ハ社會ノ各方面、特ニ宗教社會ヨリ反對ヲ受ケタガ、會員ハ之ニ屈セズ運動  
 ラ續ケ、急進主義者、無信教者、社會主義者等ノ間ニ同情者ヲ多ク得テ、實際ニハ恰カモ此會ノ  
 出タ一八七七年以來、英國人口ノ出產率減退傾向ニ顯著ナル影響ヲ與フルコトトナツタ。但ダ此  
 ニ一ツ奇ナルコトハ、左シモ熱心ナル煽動者デアツタびさんと夫人ガ其後懺悔シテ、此運動ガ國  
 民的利益ニ反シ、并ニ道義ニ背戾スルコトヲ認メ、一方ニ國民ノ有教育者の感情ノ發達ヲ妨ゲ、  
 他方ニ英國々民ヲシテ世界ノ生存競争場裡ニ薄弱ナラシメ又不適當ナラシムルノ結果ヲ有スルコ  
 トヲ認メ、遂ニ其書ヲ一八九一年ニ至ツテ絶版セシムルニ至タコトデアル。(註七)

(註二) 予ハ第一版ノ同書ヲ見ナイガ一八四八年版ノ其ニ就イテ一瞥スルト、此ニ於テ男女トモ健康ニ害モナク、道德的感  
 情ヲ傷フコトモナク、而モ情交ニ伴フ快樂ノ極メテ僅小ナル減少ヲ以テ、任意ニ両親トナルコトヲ制限スルヲ得ルコトヲ説  
 イテ居ル。

(註三) 此處マデノ英國ニ於ケル沿革ニツイテハ、

(註四) ぶえるむニ依レバ新まるさす主義ハ今ヨリ殆ンド一世紀前ヨリ愛蘭ノ社會主義者ウイリヤむとむそん(べんたむと  
 一ウエン)トノ説ニ影響セラレタル)ガ初メタルモノデアルトイフ。<sup>5)</sup>一説トシテ俾エテ置ク。

(註五) 詳シクイフト、當時此會ノ原則トシテ擧ケタモノハ左ノ如クデアル

- 1) 入口ハ生活方便以上ニ増加スル傾向ヲ有スル。
- 2) 此傾向ヲ妨グル障礙物ハ積極的即沒命的ナルモノト用心的即子出產制限のナルモノト二分レル。
- 3) 積極的即子沒命的制限ハ疾病、缺乏、戰爭、嬰兒殺ニヨル所ノ小供及大人ノ早死ヲ含ム。
- 4) 用心的即子出產制限の障礙ハ結婚ノ辛乏、即ち結婚ニ對スル賢キ用心ニヨリ子孫ヲ制限スルコトニ存スル。

5) Robert Dale Owen, Moral physiology. (ed. 1848.) p. 36.

6) Stille, a. a. O. S. 76-77. 7) Deherme, l. c. p. 56.

8) Stille a. a. O. S. 78-79. Besant, The social aspects of Malthusianism. p. 7-8.

(5) まるさすノ勸メタル晩婚ハ諸多ノ疾病及多クノ性慾的罪惡ヲ生ズル。之ニ反シ早婚ハ性慾的純潔、家庭ノ愉快、社會的幸福、箇人の健全ヲ保全スル傾向ヲ有スル。併シ適當ニ衣食住ヲ與ヘ及教育ヲ施シ得ルヨリモ多クノ小供ヲ此世ニ齎ラスエトハ夫婦ニトリテ大ナル社會的罪惡デアアル。

(6) 過剰人口ハ貧困、愚昧、犯罪及疾病ノ最恐ルヘキ源デアアル。

(7) 人口問題ノ公然且ツ詳細ナル討議ハ社會ノ爲メニ致命的重要ノ事項デ、此討議ハ法律上ノ處罰ノ心配ヨリ對絶ニ免ルルヲ得ルコトトナラナケレバナラヌ。

(註二六) 之ニツキテハ

(註二七) 之ニツキテハ

(B) 和蘭——ニテモ新まるさす主義運動ハ盛デアアル。此國ニ此主義ガ普及スル事ニ力ガアツタノハふあんほうてんで、彼ハ内務大臣トモナツタコトノアル政治家デ、既ニ七十年代ヨリ人口論、特ニ夫ノ Elements of social science ヲ研究シテ、人口過剰ノ危險ニ關スル諸論文ヲ出シ、特ニ一八七七年ニ De Yagen der Tyds トイフ雜誌ニ貧困ノ眞ノ原因、人口過剰ニツイテ同國民ニ警告ヲ爲シタ。後一八七九年ニあむすてるだむニ開カレタ萬國醫學會々議ニ、此主義ニ關スル討議ヲ爲サシムルコトニ盡力シテ成功シ、一八八四年ニハ New-Malthusianish Bond トイフ會ヲ作ルコトニ盡力シテ其會長トナリ、一八九五年ニハ此會ガ公益事業トシテ政府ヨリ認メラルルコトトナリ、國中ノ重ナル都市ニ醫師産婆ニシテ同盟ノ囑託ヲ受ケテ正當無害ナル避妊術ヲ助言スルモノヲ配置シ、機關雜誌ヲ出シ、廉價ナル小冊子ヲモ販布シテ、全國ニ此主義ヲ宣傳スルノミナラズ着々之ガ實行ヲモ忽ニシナカツタ。尤モ僧侶社會、保守黨ノ間ニハ反對ガアリ、此會ノ活動ヲ妨クルガ爲メノ立法的干涉ヲモ要求スル聲ハアルガ、又此會ニ對スル同情者モ少クナク、特ニ自由

9) Stille, a. a. O. S. 79.

10) Ussler, l. c. p. 6.

主義ノ大新聞タル De Nieuwe Rotterdamse Courant ノ如キハ此ニ同情ヲモツ所デ、此主義ノ宣  
傳ハ此國ノ出產制限ニ可ナリ顯著ナル影響ヲ與エテ居ル。(註二八)

(註二八) 之ニツキテ

(C) 獨逸——ニテハ此運動ハ割合ニ後レテ居ル。一八六六年ニ伯林ノ労働者組合ニ於テ退職判事  
きるひまんガ Ueber den Communismus der Natur トイフ演説ヲ爲シ、此ニテ労働者ニ二人以上ノ  
小供ヲ持タナイコトヲ勸メタ。彼ハ此演舌ノ爲メニ法庭ニ訴エラレ、遂ニ官職ヲ奪ハレ、恩給ヲ停  
止セラレタ。(註二九) 其後一八七二年ニすつとがるとノ銀行家まくすはうすまいすたーナルモノガ  
新まるさす主義ノ煽動的運動ヲ爲サウトシタガ、不成功ニ終ツタ。みんなくぶナルモノモ亦新まる  
さす主義會議ヲ催サント企テタガ風俗壞亂ノ故ヲ以テ禁止ニ遭ツタ。更ニ一八七八年ニハリウー  
めりんガ Allgemeine Zeitung ニ獨逸ノ過剩人口ヲ論ジテヨリ、獨逸人ノ間ニ新まるさす主義ノ注意  
ヲ喚起シ初メタヤウデ(註三〇) 斯クテ一八九二年二月ニ至ツテすつとがるとニ Social-Harmonischen  
Verein トイフ會ガ出來、初メテ此國ニ此主義ノ組織體ガ出來タ。此年九月ヨリまくすはうすまい  
すたーノ責任ノ下ニ年々九回ツツ發刊スル所ノ Die Social-Harmonie トイフ機關雜誌ガ出デ、爾  
來此國ニテ着々此主義ガ普及シツツアル。

(註二九) じえんむニヨレバ獨逸ニテハ、夙ニまくすトイフ僞名ノ下ニ民主主義的哲學者ノ判事わいんほろミナルモノニヨ  
ツテ新まるさす主義ガ繼承サレタトイフ<sup>12)</sup>

(註三〇) 之ニツキテハ<sup>13)</sup>

(D) 佛國——ニテハ實際的新まるさす主義ガ夙ニ行ハルルコトハ前ニイフ通りデアルガ、理論的

11) Deherme, l. c. p. 56-57. Stille, a. a. O. S. 81.  
12) Deherme, l. c. p. 56.  
13) Ferdy, a. a. O. S. 1.

ニモ既ニ一七七年ニばるてゝ、一七九三年ニこんどるせーガ此主義ノ基礎トナル思想ヲ公表シテ居ル。<sup>(註三二)</sup> 唯ダ他國ニ見ル如キ此主義ノ理論的唱導ハ餘程後レテ一八九六年ニ、嘗テ孤兒院長デアツタ所ノえむ、ぼーる、ろばんカべるちよんノ人口増加運動ニ反對シテ La Ligue de la Régénération humaine ナル會ヲ作ツタニ初マル。之ガ會員ハ少イガ同情者ハ少クナイ。特ニ社會主義者無政府主義者ノ間ニ然リトスル。<sup>(註三三)</sup> 固ヨリ此國ニハ實際的ニ夙ニ此主義ガ行ハレテ居ルガ、其ハ寧ロ富裕者階級デ、貧民ニ至テハ間々頗ル多クノ小供ヲモツ所デアルカラ、彼ハ之ヲ警告セントスルモノデアル。

(註三一) 之ニツキテハ<sup>14)</sup>

(註三二) 之ニツキテハ<sup>15)</sup>

(E) 其他——瑞西、瑞典、白耳義等ニモ此主義ガ均シク鼓吹セラレツツアル。一々詳説シナイ。

### 第二段 新まるさす主義ノ批評

(一) 要素(A) 手段(B) 利益——此主義ニ對シテハ目的ヨリモ手段ニツキテノ非難ガ喧シイガ、併シ其手段ニ全ク利益ナシトハイハレナイ。特ニ此手段ガ一般ノ病氣及特ニ遺傳病防止ノ效果アルコトハ争ハレナイ。<sup>(註三四)</sup> 更ニ此手段ニ對スル數多キ(ろ)非難ノ中ニハ辯護シ得ルモノト辯護シ得ヘカラスアルモノトアル。(1) 辯護シ得ベキモノトハ例之(a) 此手段ガ反自然的ナリトイフ非難ノ如キデアル。此非難ニ對シテハ第一ニ此手段ガ見様ニヨリテハ反自然的デナクムシロ自然的トモイヘルトイフ

14) Ferdy, a. a. O. S. 152.

15) Deherme, l. c. p. 83. Ferdy, a. a. O. S. 161.

コトヲ以テ答フルコトガ出來ル。即チ斯ノ如キ手段ハ畢竟人智ノ產物デ、人智ノ發達ハ即チ自然  
的ナルモノニ外ナラナイ。(註三〇) 第二ニハ假令此手段ガ反自然的ノモノトシテモ、他方ニ其目的サ  
ヘ承認サルナラバ、反自然的ナル手段其モノモ承認サレバナラヌ。即チ人口増加ノ制限  
ニシテ社會上正當ナラバ、受胎豫防ニヨツテ之行フモ不當デハナイ。社會上必要ナルニ於テ自  
然ノ作用ヲ防止スルコトヲ承認スルコトハ他ニモ例ガ多イ。例之、雷落チテ人ヲ傷ケ財ヲ害スル  
ハ自然ノ作用デアルガ、避雷柱ニヨツテ之ヲ避ケ、自然ノ作用タル疾病ヲ醫藥ニヨリ治療スルガ  
如シデアル。人力ヲ以テ有害ナル自然ヲ制スルノハ文明ノ進歩デアル。(註三一) 人口制限トシテハ均  
シク反自然的トシテモ性慾克己ヨリハ受胎豫防ノ方ガ一層科學的デ一層進歩シタモノデアル。(註三二)  
(b) 或ハ此手段ガ反道義的也トイフ。其反道義的也トイフ意義ガ道義上ニハ一ノ行爲ヲ爲ス者ハ其  
結果ヲモ欲セサルヘカラズ、然ルニ受胎豫防ヲ爲ス者ハ性交ノ結果ヲ欲セサルノ故ニ此道義上ノ  
原則ニ反ストイフニアラバ、之ニ答テ曰フ。若モ此主義ノ目的ガ認めラレ、人口増加ニシテ社會  
上不良ナリトイフコトガ認めラルルナラバ、新まるさす主義者コソ却ツテ性交ノ結果ヲ考慮シ、  
其ヨリシテ不良ノ結果ノ生セズ、良好ノ結果ノ生センコトヲ欲スルモノナレト。(註三三) 彼等ハ反道  
義ドコロカ大ニ道義的ニ行動シテ居ルノデアル。非まるさす主義者ガ養フコト能ハザルモノマデ  
産ムノガ反道義デ、養フコト能ハザル者ヲ産マナイヤウニ努ムル新まるさす主義者ノ行動ハ却ツ  
テ道義的トイハナケレバナラヌ。(註三四) 或ハ受胎豫防ハ人間トナルヘカリシ精虫ヲシテ生育ヲ遂ケ  
シメナイモノデ、殺人ニ均シ故ニ反道義的ナリトイフナラバ、之ニ答ヘテハ精虫ニハ未タ獨立ノ

箇性ナシ殺人ニ非ズトイフコトヲ得ル。(註三九) (c) 或ハ此手段ヲ以テ反健康的ナリトイフモノガアルガ(註四〇) 避妊術ニモ種々アツテ實際無害ナルモアルカラ心配ニ及バヌト答フルコトガ出來ル。(註四二)

(註三三) 之ニツキテハ、<sup>11)</sup>

(註三四) びさんごハ曰ク、此ハ非自然的デハナイ。何トナレバ人間ノ腦ハ自然ノ最高ノ産物デ、不合理ナル自然ニ對スル總ヘテノ改良ハ長純粹ニ自然的デアルト。<sup>12)</sup>

(註三五) るこがーすハ曰ク、人類ハ自然ヨリモ一層高キ目的ヲ有ストるべーとてゐるべーと云ハ曰ク、人類改良ノ「無言ノ裡ノ併シ無抵抗ナル」進歩ニ於テ此ノ如キ變化ハ避クヘカラザルモノデアルト。<sup>13)</sup>

(註三六) ふなれるハ曰ク學問ノ進歩カ避妊術ヲ見出シタノデアルト。<sup>14)</sup>

(註三七) 此點ニツキテハ、

(註三八) びさんごハ曰ク、扶養スルコト能ハザル處ニ、生命ヲ與フルコトガ不道義デアル。夫婦間ノ用心ハ最高キ道義デアルト。<sup>15)</sup>

(註三九) るこがーすハ曰ク、殺人トイフコトハ獨立ノ箇性アル者ニ對シテノミ適用セラルヘキデアルト。<sup>16)</sup>

尙ホ此新まるさす主義ノ手段ニ對シテ反道義的等ノ非難ガ下サルルハ、一ハ此主義ノ手段トシテ用非ラレル藥品等ノ販賣者ガ爲ス所ノ營利ノ爲メノ廣告ガ世人ノ感情ヲ刺戟シタルニ因ルヤツデアル。

而シテ曰ニ反道義反自然反神意等ヲ唱フル僧侶等ガ實ハ此主義ヲ實行シツツアル所デ、其證據ニハ僧侶ノ家族ノ數ガ一八七四年ニハ平均家族數デアツタノガ、其後ハ平均家族數以下トナツタトイフコトデアル。<sup>17)</sup>

(註四〇) 此非難ヲ爲スモノハ、<sup>18)</sup>

(註四一) 之ニツキテハ、<sup>19)</sup> 匪ニごらいますでゐるハ曰ク多クノ有力ナル醫師ハ此方法ノ無害ヲ證明シタ。斯クテ嘗テ一八七四年頃ニハ醫師ノ家族ノ數ガ平均家族數ダクアツタモノ、其後、平均家族數以下トナツタ。之ニヨリ此間ニ夫ノ方法ノ行ハレタコトヲ知ルコトガ出來、又其ノ無害ナレバこそ彼等ノ行フ所トナツタコトヲ推知スルコトガ出來ルト。<sup>20)</sup>

(二) 辯護シ得ヘカラサル非難トシテハ此主義ノ採ル所ノ手段ノ避クヘカラザル缺點及餘弊ヲ舉ク

1) Gottschalk, l. c. p. 22. 2) Besant, Law of population. p. 38. 3) Rutgers, a. a. O. S. 65. 4) R. D. Owen, l. c. p. 39. 5) Forel, a. a. O. S. 3. 6) Rutgers, a. a. O. S. 59. 7) Besant, Law of population. p. 39. 8) Rutgers, a. a. O. S. 55. 9) Drysdale, l. c. p. 104. 10) Ussher, l. c. p. 55. &c. 11) Rutgers, a. a. O. S. 50 ff. 12) Drysdale, l. c. p. 103-4.

へキデアアル。(a)第一此手段ノ實行ガ家庭ノ内部ノ事デ強制ノ行ハレ難ク、隨テ其ノ斷行ノ期セテレナイコト(b)第二ニハ多少費用ガカ、リ隨テ恰カモ此手段ノ實行ノ希望スヘキ貧民ニ行ハレ難ク却テ必スシモ其希望セラレザル富裕者階級ニ行ハレ易キコト、イフ缺點ガアル。(註四三)(c)更ラニ餘弊トシテハ私通、淫賣、多淫、風俗壞亂等ヲ齎ラスヲ免レナイ。(註四三)尤モ此餘弊ニ對シテハ、世ノ中ニハ必要有益ナルモノデ濫用サルルガ爲メニ害ヲ生スルモノハ少クナイ。例之、火、水、銅金等皆然リデアアル。右手段ニテモ他ニ社會上有益ナル結果ヲ生スルコトノ證明サヘ出來ルナラバ或ハ此モ認容スルノ外ナキモノトモイハルル。(註四四)

(註四二) 富者ニ於テ貧者ニ於ケルヨリモ多ク此手段ヲ用ユルコトハばつしーノ調ニヨレハ巴里ノ富者區ハ各結婚者ニツキ一、九七ノ出產ヲ示メスノニ、貧者區ハ二、八六ノ出產ヲ示メストイフニヨツテ知ルコトガ出來ル。<sup>13)</sup>倫敦ニテモあつしーノ調ニヨルトイフサズえん、ジノ出產率ハ三五%デアアルノニ、うえすさノハ二五%トイフニヨツテ分カル。<sup>14)</sup>

(註四三) ふたれるモ新まるさす主義ハ風俗壞亂トナルトイヒはうるつわいふえるモ風俗壞亂ノ結果ヲ有スル濫用ノ爲メニ此主義ニ反對スル。<sup>15)</sup>

(註四四) 此故ニるどがイサ曰吾人ハ此等ノモノノ使用ヲ止ムヘキデアナクテ、其濫用ヲ防止スルコトニ努ムヘキモノデアアルト(B)目的(生理論的新まるさす主義ノ目的)——ニ對シテハ(1)此主義ニハ人口過剩ノ社會上ノ弊害ヲ救フニ吸々トシテ、之ガ生産上國防上並ニ文明上ノ利益及之ガ利用方法ニ注意セザルノ缺點ガアル。即チ(a)小供ノ多キコトニハ下ノ如キ生産上國防上文明上ノ利益ガアル。先ツイ一國人口ノ數量ガ多イダケ生産上ニハ勞働者ガ豊富トナリ、經濟上ノ活動ガ周約トナリ、生産ノ規模ガ大トナツテ其國々民ノ經濟競争力ヲ大ナラシメ、國防上ニハ其國ノ兵員ノ數ノ大ナルコトガ出來、隨テ

13) Ussher, l. c. p. 90.  
 14) Ussher, l. c. p. 91.  
 15) Forel, a. a. O. S. 5.  
 16) Ferdv. a. a. O. S. 147.

國際間ニ雄ヲ稱スルコトガ出來ルノミナラズ、各個人カライフテモ其血税ノ負擔ガ割合ニ輕キヲ得ルコトトナル(註四七)唯ダ一國ノ人口ガ多クレバ其品質モ亦一層良好トナルカハ明確ニ然リトモイヘナイガ、併シ人口多キ處ニ品質モ一層良好トナル蓋然性モアル。即チ小供少キ場合ニハ親ノ愛ガ過キテ小供ガ薄弱トナリ、氣力モ弱ク、惡キ意味ノ箇人主義的トナリ、無能遊惰トナリ、親モ怠慢浪費トナルノニ、小供多キ場合ニハ却ツテ小供ハ強健トナリ、勇敢、忍耐、共同的等ノ美德ヲ備フルコトトナリ、親モ一層勉勵シ節約スルコトトナル(註四八)發明改良工夫研究モ多ク現ハレ、經濟組織モ進ミ、文明進歩モ遂ケラレ(註四七)國防上ニモ有益ナル徳性ヲ發揮スルコトトナルノ傾ガアル。(b)他方カライヘバ此多キ小供ヲ以テ一國又ハ社會ノ發達ニ貢獻セシムルコトトガ出來ル。即チ利用スルコトトガ出來ル。經濟上之ヲ(イ)國內ノ未開地ノ開發ニ向クルコトトガ出來、斯ノ如キ未開地ハ文明國ニモ多少ツツハ尙存スル。(ロ)更ニ移民殖民ニ、(ハ)及ヒ商業航海業等ニ從事セシメテ一國ノ發達ニ貢獻セシムルコトト得ル。故ニ切角ノ人口増加ヲ制限スルノハ決シテ一國ノ經濟力ヲ發達セシメ、國防力ヲ充實シ文明ノ進歩ヲ計ル所以デハナイ(註四九)

(註四五)

ごらいすでーるハ口ク、小供ノ多キコトハ軍事上ノ利益及資本家の利益ヲ進ムルデアラウト、<sup>18)</sup>

夫ノ新まるさす主義者ハ軍事上ノ勤務ヲ輕視スル所デアルガ、今日ノ國家組織ノ下ニハ軍事上ノ關係ヲ無視スルコトトハ出來ズ、此主義ヲ實行スルコトトナルト、各人ノ軍事上ノ負擔ノ重タルコトヲ注意シナクレバナラス。即チ軍隊ニ六十三萬四千人ヲ齎ラス爲メニ獨逸ガ八十九人ノ住民ヨリ一人ノ割ニテ兵士ヲ採ルノニ、佛蘭西ニテハ六十萬二千人ノ兵員ヲ充タス爲メニ住民六十五人ニツキ一人ノ割ニテ採ルコトトナル。又(イ)えんたーるノ計算ニヨルト、生キテ産レタル百入ニツキ露國アハ二十八、獨逸デハ三十八、奧匈デハ二十二、伊太利デハ三十人、佛國デハ七十九人が平時軍隊ニ行ク勘定デアル。然レバ血税ハ他國ノ平均ニ比シテ佛國ニテハ三倍重イ譯デアルト。<sup>19)</sup>

18) Drysdale, l. c. p. 118.

19) Deherme, l. c. p. 100.



(註四八) 小供ノ多キ場合ノ方、其キ小供ノ出來ルユトニツイテハ、ふたれるハ曰フ佛蘭西ノ少數ナル小供ハ、親トシテハ十分ニ此少數ノ小供ヲ養育スル積デアアルガ實ハ、「薄弱、無能、遊惰等トナル」。「斯クテ出産ノ數ハ減少スルモ品質ハ決して改良セラレナイ」トじやばるモ亦曰フ、唯一人ノ小供ハ例外ナ別トシテ不良人デアアルトあつしあーハ曰フ、小供少キ家族デアハ小供ニ同胞ノ愛情、犠牲心ヲ缺クコトトナルト云へるモ亦曰フ、家族多キ家庭ハ有機的ノ力デ、連帶ト忍耐トノ學校デアルト更ラニまゝしあるノ詞ニモ大家族員ハ互ニ教育シ、彼等ハ通例小家族員ヨリモ一層快活ニ、親切ニ且ツ勇敢デアアルトイフコトガアル、又さういりやむ、かゝるガ印度文官ノ候補者ヲ試験スルトキニ、大家族員タリシ候補者が最強カツタトイフ經驗ヲ語ツタ。ふらんくりんガ青年ニ對スル忠告ノ中ニモ妻ヲ選ムノハ姉妹ノ多キモノノ中ヨリ取レトアル。<sup>22)</sup>  
 小供ノ多キコトノ親ニ及ボス影響ニツキテハあつしあーハ曰フ、小供ノ存在ハ親ニ小供ノ爲メニ働クコトヲ刺戟シ、浪費ヲ節セシメ企業心ヲ助ケルト。<sup>23)</sup>

(註四七) あむずてるだむニ開カレタル最近ノ精神病學會ニ報告サレタ所ニヨルト、七十四ノ偉人(學者、詩人、音樂家、政治家)ニツキ十人ノミガ長子デ一層多クノ偉人ハ最後ノ出産ニ係ツテ居ル。例之、くーばーハ十二人ノ小供ノ中ノ十一人目ばるざつくハ三人申ノ最後、なほれれんハ八人目、ふらんくりんハ七人ノ最後、れんぶらんハ六人申ノ六人目、わぐなハ七人目、しざーハ七人目、しゆーまんハ五人目、しゆーべるハ十四人中ノ十三人目デアアルト新ノ如キ統計ハ固ヨリ統計トモイフヘカラザル程ノモノデアアルガ、宛ニ各人が一二ノ小供ニテ甘んズルコトトナルト世ノ中ハ澤山ノ偉人ヲ失ハナケレバナラヌコトニナルコトハ疑ナ容レナイ。

(註四八) (A)國民的立場ヨリ——ふたれるハ佛蘭西ノ慣習ナ國民的自殺デアアルトイヒ、あつしあーハ英國國民ガ大國民トシテ存續シヤウト思ヘバ、其家族生活ヲ自己ノ願望以上ニ盛カナケレバナラヌトイフ。特ニ注意スヘキハ佛蘭西ノ人口事情ヨリスレバ本國人ガ外國ニ出テ往キテ發展セザルノミナラズ、佛蘭西自身ニ外國人ノ益々増加シ來ル傾ガアルコトデアアル。之ニツキじゆーるろしあーハ曰フ、外國人ガ佛蘭西國土ニ土着人ヨリモ十三倍早ク増加スル。若モ此ガ繼續スルモノトスレバ、五十年間ニ佛蘭西外國人ノ一千万人ヲ算スルコトトナルデアラウト、斯クテ佛蘭西ノ政治家ガ其大國ノ地位ヲ落サンコトヲ恐レテ、諸多ノ警告ヲ發シテ居ル。例之、Prevost-Paradol, La France nouvelle (1868), Raoul Frary, Le péril national (1881).

20) Forel, a. a. O. S. 20. 21) Ferdy, a. a. O. S. 168. 22) Ussher, l. c. p. 67.  
 23) Deherme, l. c. p. 81. 24) Ussher, l. c. p. 69. 25) Ussher, l. c. p. 60.  
 26) Deherme, l. c. p. 80-81. 27) Forel, a. a. O. S. 20. 28) Ussher, l. c. p. 61.  
 29) Deherme, l. c. p. 101.

Roger Delmont, Un pays de célibataires et de fils uniques (1896) 等ノ如キデ、一八九六年八月ニハじやつくべるちよんノ盡力ニヨリテ Alliance nationale pour l'accroissement de la population française 即チ佛國人口増加獎勵協會トイフヘキモノガ出来、之ガ提案ニ依ルト、(1)佛國ハ第三等國トナラントシテ居ル。(2)佛國ハ山産不足ノ爲メニ滅亡スルデアラフ(3)人ハ祖國ノ存續ノ爲メニ貢獻スル義務ガナル、(4)此災害ノ原因ヲ求メテ之ヲ矯正シナケレバナラス、其最主要ナル原因ハ父ノ其子ニツキテノ名譽心デアアル、(5)小供ヲ育テ上ケルコトガ租税ノ一種ト見做サルヘキデアアル。(6)一家族ニ三人ノ小供ガ必要デアアル、此三人アルニ於テ初メテ此租税ガ拂ハレタルモノト見做ス、(7)三人以上ノ小供ヲモツ家族ハ納税ニツキ免除チ與フヘキデアアル。(8)唯一人ノ小供ノ場合ノ相續財産ノ部分的沒收及ヒ相續法ノ其他ノ變更、(9)早ク結婚シタル者ハ特ニ兵役義務ヲ免除サルヘキモノトスル。(10)國家ノ與フル總ヘテノ特典ハ特ニ小供多キ家族ニ與ヘラルベキモノトスル。例之、奨學金、扶助金、煙草賣捌ノ如シ。小供多キ役人ニハ住宅料ノ増給ヲ爲スヘキデアアル。(11)親ノ養育タル能ハザル小供ハ國家ヨリ養育スヘキデアアル。トイフノデアアル。其後佛國ニテハ常ニ人口増加ノ獎勵ガ問題トナリ、種々之ニ關スル案が出タ。其一例トシテ議會ニ出テタル案ノ中ニ(1)二十九歳ニ至ルモ結婚セザル男ハ再ヒ軍事上ノ勤務ニ招集サルルコトトスル。(2)二十五歳以前ニ結婚シナガツタトキハ、國家又ハ地方團體ヨリ任官サルルコトヲ得ナイコトトスル。(3)少クトモ生ケル三人ノ小供チ有ツトキハ俸給及恩給チ増額スルコトトスル。トイフガアツタ。其他ニモ種々ノ案ガアル。

(B)文明ノ立場ヨリ30)ふなれるハ新まるさす主義ハ文明ノ自殺デアアル、此問題ハ全文明人ノ幸福、將來及健全ト深キ關係アル問題也トイヒ31)ぶぎ32)トイフハ文明國ニ新まるさす主義ガ行ハルルトキハ、彼等ガ低キ文明國民ニヨリ代ハラルルコトナルノ危險ガアルトイフ但シ之ニ對シテハるゝが「其心配スルニ及ハザルコトヲ説イテ居ル。彼ハ先ツ羅馬帝國ガ繁榮チ極メタル後、民族移住ノ爲メニ其文明ノ破壞セラルルコトトナレユトナ説キ、更ニ「支那ニテハ餘リ多クノ小供チ、歐羅巴ニテハ餘リ少キ小供チ産ムコトハ黃禍トナラザルカ」ト問ヒ、然シ支那人ハ實ハ貧乏トニ苦シムモノデアアルカラ、彼等ト歐羅巴人トノ接觸ガ漸繁トナレバ、彼等モ均シク高キ生活難チモツコトトナリ、小供數ヲ制限スルコトヲ學ブコトナルニヨツテ、心配スルニ及ハナイトイフテ居ル33)

(2)他面社會上ヨリイヘバ(a)此主義ヲ實行シテモ其目的トスル人口過剩ノ社會上ノ弊害タル貧困羸弱犯罪等ヲ全ク廢除スルコトハ出來得ナイ。(イ)即チ此主義ガ實行セラレテ人口過剩トイフコト

30) Ferdy, a. a. O. S. 154-5. 31) Drysdale l. c. p. 117-8. 32) 京都法學會雜誌八卷九號所載拙稿佛蘭西ニ於ケル人口過剩ノ問題、參照 一巻二號所載拙稿 佛國ニ於ケル人口過剩ノ問題、參照 a. a. O. S. 5. 33) 34) Ussher, l. c. p. 92. 35) Rutgers, a. a. O. S. 159. 160.

ガナクナツテモ、尙ホ此世ニハ貧困羸弱犯罪等ノ存スルヲ免レナイ。例之無智怠慢不具者等ハ人口ノ少キ處ニモ存在シテ夫ノ弊害ヲ生スル。<sup>(註四七)</sup> (口)更ラニ又此ノ如キ小供ノ少キ社會ニテハ、小供ノ少キガ爲メノ故ニ貧困羸弱犯罪等ヲ生スルコトモアル。蓋シ一面ニハ貧困者勞働者階級等ノ心理狀態トシテ、小供少キダケ餘裕ヲ生ズレバ淫食安逸ニ流レ、飲酒等ニ耽ルコトトナルノト、<sup>(註四八)</sup>他面ニハ人口制限ノ行ハルルガ如キ社會デハ企業心缺乏シテ勞働需要ノ少キ傾アルトニ因ルノデアアル。<sup>(註四九)</sup> (b)加之更ニ貧困其モノガ絶滅セラルルニ及バザルモノデアアル。此ガアルカラシテ奮勵努力ガ起リ、國家社會ノ發達トモナルバカリデナク、又普通人ノ比較的嫌フ所ノ職業ニモ人ヲ得ルコトトナリ、社會ノ有機體ガ運轉スルヲ得ルトイフコトモアル。デ貧困ガ即チ富ノ本デア  
ル文明ノ源デアアルトイフヘキ點モアル。<sup>(註五〇)</sup> 要スルニ新まるさす主義ノ目的ハ完全ニ達シ得ザルモノデアリ又一部ハ之ヲ達スルニ及バサルモノデアアル。<sup>(註五一)</sup>

(註四九) ふたれるハ曰ク、過剩人口ノミガ貧困ヲ生スルノデハナイ。人口稀薄デ土地豊饒ナルモ尙貧ナル人民ノ多ク存在スルコトガアル。例之ころんびや國ノ如シデアアル。又此ト反對ニ人口稠密ナルモ而モ富裕ナル國ガアル。…加之富メル國內デモ無智怠慢無能ナル者ハ貧困スルコトトナルト。

(註五〇) あつしあーハ曰ク、此主義ガ實行サルルト、怠慢贅澤ガ増長スルデアラウト。<sup>(註五二)</sup>

(註五一) すわーぐまん夫人ハ勞働者ノ賃金ヲ高クスルノニハ其人口制限ニヨリテノミ達スルコトガ出來ルトイフカ、他方ニ企業者側ノ企業心ノ阻礙ヲ件フカラ、必スシモ賃金ヲ高クシナイ。佛國人口ハ減退シタルガ、此ト同一ノ原因ガ其企業ヲ振ハシメナイテ、佛國西ニ於ケル賃金ハ獨逸ノヨリモ低イノヲ見テモ、人口制限ノミニヨリテ賃金ヲ高クスルコトノ不可能ナルヲ知ルメキデアアル。

(註五二) 特ニ今日ノ貧者ハ今日ノ富者ト比スレバこそ益益其地位ヲ落シツツアルトモ見ユルガ、之ヲ昔日ノ富者ニ比スレバ

36) Forel, a. a. O. S. 9-11.

37) Ussher, l. c. p. 60.

38) Stille, a. a. O. S. 26.

其爲シ得ザリシ程ノモノヲモ爲シ得ル所テ、文明進歩サヘアレバ、貧者ハ貧者乍ラニモ其地位ヲ昂上シツツアル。彼等ノ地位ハサウ憐レムヘキモノデハナイ。特ニ他方ニ相當ナル社會政策的施設ヲ行ヘバ貧困者ノ困苦チシテ甚シキニ至ラシメサルコトモ出來ル。貧困ハ絶滅スヘキモノデハナク、利用スヘク、又其苦痛ヲ緩和スルコトヲ努ムヘキモノデアル。

(註五三) 此主義ニヨリ貧困犯罪等ヲ防クコトノ全ク出來ナイトイフ譯デハナイ。之ヲ防クニ於テ多少ノ效果ハアル。

(る) 實際的新まるさす主義ノ目的——ニ對シテハ(1) 道義的ニ之ヲ見テ理性主義トイフヘキデア  
ルコト前段所述ノ通りデアアルガ、其ガ箇人的デアツテ社會的デナク、完全ナル道義的デナイトイ  
フ非難ヲ免レナイ。別言スレハ箇人的利益享樂ヲ見テ社會的國民的ノ利益ヲ輕視スルノ傾ガアル。  
(註五四) 結果ヨリ見ルト(a) 此主義ガムシロ中以上ノ富裕者階級知識階級ニ行ハレテ下層階級ニ多ク  
行ハレナイ所ユヘ(註五五) 社會ニ比較的優良分子増加セズンテ不良分子ノミ増加スル傾ガアル。社會  
改良上望マシクナイ。(註五六) 又(b) 此主義ニ存スル所ノ保守的消極的精神ガ進歩ヲ妨ク、退嬰ニ陥ラ  
シメ以テ企業ノ發達ヲ妨クルコトトナルコトハ(註五七) 理論的新まるさす主義ト弊害ヲ共ニスル。

(註五四) ふゑるヂノ如キハ理性主義ヲ履キ違ユテ、かんとノ道義ノ意味カラハ佛人ハ獨人ヨリモ一層道義的ニ高キ國民也  
トイフケレトモ、之ハ當ラナイ。

あつしあハ曰ク。此主義ハ箇人ノ放縱ノ爲メニ社會ノ最良ノ利益ヲ後ニスルモノデアルトと云ふるハ曰ク新まるさす主義  
ハ家族、祖國、國家等ノ團體ヲ否定スルモノデアルトと云はれるハ曰ク、新まるさす主義ハ唯ダ快樂慾ヲ進ムルモノデアルト  
につちハ曰ク、新まるさす主義ハまるさす主義デハナイ。此ガ箇人的利己主義的ノ粗野ナル肯定ニ過キナイト此等ハ何レモ  
特ニ實際的ナル新まるさす主義ニ當ル批評デアアル。斯クテ佛國ニ實際的新まるさす主義ノ行ハルルコトトナツタノニハ、其  
社會ニ於ケル奢侈淫逸ノ氣風ノ外ニ、宗教ノ衰頹學問ノ進歩、教育ノ普及ヲ加フルコトガ出來ル。

(註五五) 二つちやるくニ依ルニ、實際統計ニヨレハ、貧ナル家族ハ常ニ大ナル數ノ出產ヲモツニ、富メル家族ハ頗ル小ナル  
出產數ヲモツ。國ニヨリ富メル家族ノ一ノ出產ニ對シテ、貧家族ニテ七、八、十又ハ十二ノ出產ガアル。斯クテ貧民ハ頗ル

39) Ferdy, a. a. O. S. 175.

40) Ussher, l. c. P. 62.

41) Deherme, l. c. p. 95.

42) Forel, a. a. O. S. 5.

43) Ussher, l. c. p. 24.

44) Ussher, l. c. p. 97.

迅速ニ増殖スルノニ、富民ハ殆ト増加シナイカ、又ハ國ニヨリテハ全ク増加シナイ

(註五六) 尤モ富裕者ガ貧者ヨリモ不良分子トスレバ、斯クイフコトハ出來ナイ。然シ此ニ富裕者トイフ中ニハ中等階級ガ含マルルコトトナリ、此等ニ於テモ人口制限力行ハルルコトトナルト如何ニシテモ社會ノ優良分子ヲ増殖セサルモノトシテ心配シナクアレハナラナイ。

(註五七) 佛國ハ正ニ之ヲ患トスル

(二) 常素、(A) 統計上——二兒制デハ一國人口減退ヲ免レナイ。二人ヲ以テ二人ヲ作レバ、能ク一國人口ヲ維持シ得ルヤウデハアルガ、(イ) 一面ニハ一國人口ノ總ヘテノモノガ結婚スルモノデナイ。結婚年齢ニ達シナイテ早生スルガアリ、結婚年齢ニ達スルモ疾病不具性癖其他ノ事情ニテ結婚シナイガアリ、一旦結婚スルモ末タ子ヲ産ムニ至ラナイデ間モナク寡婦トナリ離婚者トナルガアリ、(ロ) 他方結婚者デモ病氣等ノ爲メニ出産スルコトノ出來ナイノガアル。デ結婚シツツ出産シ得ルモノガ僅々二人ノ出産ニ止マツテ居テハ到底一國人口ヲ維持シ得ナイコトトナルノハ明デアル(註五八) (B) 歴史上——ヨリ觀察シテモ二兒制ノ行ハレタ處デハ前ノ數量關係ノ外、品質的關係モ伴ツテ國民的亡滅ヲ生シテ居ル。希臘羅馬然リデ今ハ佛蘭西然ラントシツアルヤウデアル。

(註五八) 此點ニツキテハ參照

(三) 偶素——即チ婦人ノ過勞ニ對スル同情トイフコトニツイテハ、(1) 多産ノ能力アル程ノ者ハ健全デアルカラ、多産ハ婦人ニ重大ナル損害ヲ與フルモノデナイ(註五九) (2) 又假令多少ノ損害ハアツテモ他方ニ人口ノ増加ガ國家社會上ニ必要トアラバ、婦人ハ義務トシテ之ヲ忍ブノ外ハアルマイトイフコトヲ注意シナケレバナラス。

(註五九) 前段註十八すちるまんノ說參照

45) Gottschalk, l. c. p. 10.  
46) Forel, a. a. O. S. 11.  
47) 拙著經濟論集二册六九〇乃至六九二頁

### 結 論

要スルニ新まるさす主義トハ受胎豫防ニヨリ出産ヲ制限スル主義デ、其理論的ナルハ人口過剩ノ社會的弊害ヲ救済スル爲メニ特ニ下層社會ノ之ヲ行ハンコトヲ勸ムルモノデ、實際的ナルハ各人ノ利益享樂ノ爲メニムシロ上層階級ニ行ハルル所デアル。實際的ナルハ夙ニ佛蘭西ニ發達シ、理論的ナルハ英國ニ於テ最モ良ク發達シタガ、兎ニ角現在ノ事情ノ下ニハ孰レモ採ルヘキモノデナイト斷ジナケレバナラス。詳シクイヘバ現代ノ國家的競争ノ存スル時世ニハ人口増殖ノ制限ヲ爲サナイ方ガ良イ(註六〇)トイフヘキデアル。若夫レ國家的競争ナク、四海同胞ノ行ハルル世界の國家ノ出現スル日ニハ此主義モ前ニイヘル弊害ノ諸多ノモノガ消滅スルノデアラウカラ、左迄反對スルニモ當ラナイ。併シ其際ニハ唯單純ニ人口制限ヲ行フノデハナク優種論ト(註六一)結付イテ、不良分子ノ所デ特ニ之ヲ強制的ニモ行ヒ、優良分子ノ所デバ却ツテ人口増殖獎勵法ヲモ行ツテ然ルヘキモノデアル(註六二)。

(註六〇) ぎえるむガ「將來ハ多産ナル國民ノ上ニアリ、人ニ於テ、富ニ於テ」トイフハ正サニ現代國家ノ下ニ於テ當ル所デアル<sup>1)</sup>。

(註六一) がるごんノ優種論ニヨレハ有能者善具者ノミ増加スヘク、貧者、病者、墮落者ハ増加スヘカラズトイフノデアル<sup>2)</sup>。優種論ハ遺傳說ヲ認メテ、善キ親ハ善キ子ヲ産ミ、惡キ親ハ惡シキ子ヲ産ムトスルノデアル。

(註六二) 理論的新まるさす主義ハ富裕者有識者ニ多ク行ハルルニ(優種增加セズシテ劣種増加スルコトトナル。優種論トハ反對ガ、實際的新まるさす主義ハ富裕者有識者ニ多ク行ハルルニ(優種增加セズシテ劣種増加スルコトトナル。優種論トハ反對トナル。ふねれるハ曰ク、有識者、有能者、富者等ハ平均的ニ少数ノ小供ヲ産シ、貧民愚者其他ノ小價値ノ人種ハ愈々増加スル。優種論ハ此事實ニ反對シテ行動スルノデアアルとるこがーすモ亦曰ク、理性アル者ハ産兒制限ヲ行ヒ、理性ナキ者ハ之ヲ行ハナイ。斯クテ前者ガ後者ヨリモ益々小數トナルト<sup>4)</sup>。

1) Deherme, l. c. p. 103.  
 2) Forel, a. a. O. S. 4.  
 3) Forel, a. a. O. S. 19.  
 4) Rutgers, a. a. O. S. 93.